

平成22年度経営改善に向けた主な取組内容

1 医師・臨床研修医の確保と資質向上支援

(1) 医師の人材確保のための方策

- ① 医師確保及び自治医大の卒業生の政策的医療（救急、精神、感染症）実施病院への優先的配置について、県当局への要望
- ② 大学附属病院医局に対する医師派遣要請の継続的な実施
- ③ 医師住宅の家賃助成（基準限度額1ヶ月4万円）
- ④ 学会出席のための旅費、参加負担金の助成
- ⑤ 救急勤務医・産科医確保のため、特殊勤務手当の支給（21年10月創設）

(2) 臨床研修医の確保

魅力ある研修プログラムの検討・充実に努め、将来、本院での勤務を希望する研修医の確保

- ① 医学生向けの病院説明会（レジナビ）に参加〔東京会場、金沢会場〕
- ② 病院の見学会を開催（随時の受け入れ）

2 看護師及び医療技術者等の育成

(1) 看護師育成事業

- ① 認定看護師の育成
 - ・乳がん認定看護師教育専門課程受講(予定)
- ② 認定看護管理者育成
 - ・認定看護管理者制度教育課程サードレベル受講(予定)

(2) 薬剤師、検査技師等医療技術者育成事業

- ① がん専門薬剤師等資格取得(更新)への支援
- ② 感染制御専門薬剤師の育成
- ③ 院内がん登録実務者(中級)の育成
- ④ 医学物理士の育成

(3) 各種指定病院として必須な資格取得のための研修参加支援

3 地域がん診療連携拠点病院としての機能強化

地域がん診療連携拠点病院の指定更新を受け、更に、「女性のがん・放射線治療」を特色としたがん診療の機能強化を図る。

- (1) 地域がん診療連携拠点病院の指定更新(H22.3)
- (2) 乳がん地域連携クリニカルパスの運用開始(4月以降予定)
 - (5大がん地域連携クリニカルパスの一部運用・調整)
- (3) 緩和ケア研修会の開催(H22.5末、H22.6初)
- (4) 地域がん診療連携拠点病院としての診療報酬加算の取得
- (5) 施設機能の拡充・強化(外来化学療法室の拡充など)

〔H22.2 乳房X線撮影装置(マンモグラフィ)、乳房専用吸引式組織生検装置(マンモトーム)の更新〕

4 高度医療機器の更新

(内訳：[別紙1](#))

病院改築時等に購入した高度医療機器の計画的更新(期間：平成21年度から4ヵ年)

【計画総額1,200,000千円】

・22年度更新予定(3件)

MRI装置、多目的デジタルX線テレビ装置、薬局調剤支援システム

5 22年度診療報酬改定に伴う取組み

(内訳：[別紙2](#))

- (1) 新規加算項目等の取得
- (2) DPC適用病院としての取組みを強化
 - ① ベンチマークの活用による医療の質の向上
 - ② 新たな機能評価係数の取得
 - ・ 医師事務作業補助体制加算(100対1→75対1)
 - ・ 感染対策防止加算
 - ・ 総合入院体制加算 など
 - ③ 多職種からなるチーム医療による取組み(栄養サポートなど)

※DPC(診断群分類) 包括支払制度のことをいう。病名に対し、1日当たりの定額の点数からなる包括評価の範囲(入院料、投薬料、注射料等)と出来高評価の範囲(手術料、リハビリ等)を組み合わせる診療費を計算する方法

6 地域連携の取組み

- (1) ※「高岡医療圏地域れんけいネット」を活用した地域医療連携の拡充
「高岡医療圏地域れんけいネット」に新機能の追加を検討し、病病・病診連携の強化を図る。

※中核病院である高岡市民病院、厚生連高岡病院での診療やCT、MRI等の高度医療機器の検査を地域医療機関(開業医等)がインターネットを利用して予約できるシステム。(H19.4運用開始)

- (2) 地域連携クリニカルパスの運用(糖尿病、急性心筋梗塞等)
- (3) 情報交換会の開催(参考 H21:3回開催)
高岡医療圏の各医療機関、施設等との連携を円滑に図るため、医療機関、介護老人保健施設、居宅介護支援事業所等の職員を対象に意見交換の場を開催
- (4) 医師等による開業医訪問
地域の医療機関等との連携強化を図るため、毎年実施。

7 空調・電気・機械設備の計画的な修繕

病院改築時に設置した空調・電気・機械設備機器の計画的修繕(期間:平成20年度から3ヵ年)

【計画総額185,000千円】

- ・ H22年度修繕予定(4箇所)
中央監視装置、昇降機(7基分)、エアシューター、炉筒煙管ボイラー 【予算額46,925千円】
-

[戻る](#)